

小さな声で 言いましょう

なまえ)

)

会話文には、二つの種類があります。

(1) 相手に 話しかけている 会話文。

(2) ひとりごとの会話文。

会話文を 音読する ときは、二つを 読みわたることが 大切です。

ここでは、ひとりごとの 会話文の練習をします。

小さな 声で そっと、つぶやいて ささやいて 読みましょう。

(1) 「はやく 夏休みが こないかなあ。」

(2) 「そうね。どうしようかな。」

(3) 「シート、だまってて。だまってて。  
声を出しちゃ だめ。」

(4) 「はてな、おかしいぞ。」

(5) 「あーあー、つまんないなあ。」

(6) 「また、雨か。いやだなあ。」

(7) 「やっぱり 行くのは よそう。」

(8) 「おい、あれ、なあに？」

(9) 「へんだなあ、おさいふがない。これは たいへんだ！」

(10) 「おい、かくれろ、かくれろ。むこうから へんな人が来るよ。」

(11) 「そうつと のぞいて ぐらん。ねこの 赤ちゃんが 四ひき いるよ。」

(12) 「どれどれ、ほんとだ。かわいい 目を して、こっちを じっと 見ているよ。」

